

環境マネジメントシステム導入報告書

（ 宛 先 ） 京 都 府 知 事	平成25年7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
京都府京田辺市甘南備台3丁目17-1	ニッタ・ハース株式会社 代表取締役社長 木下正治

環境マネジメントシステムの名称	JIS Q 14001:2004(ISO 14001:2004)
適用範囲	ニッタ・ハース株式会社 京都工場、三重工場、大阪本社、東京支店
導入年月日	2001年3月28日
認証番号	JUSE-EG-045
基本方針	地域及び地球環境への影響を考慮して、環境負荷を限りなく低減し、環境汚染予防に努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①エネルギー使用量を対前年比で原単位1%削減 ②廃棄物の削減 ③緊急事態対応訓練実施 ④環境汚染防止(大気、騒音、振動、水質の基準値遵守)
目標を達成するための取組の内容	①構内の外灯を水銀灯から高効率蛍光灯へ変更。昼休みの事務所消灯継続する。室外機への散水装置(夏場のみ稼働)を1箇所増設。夏場の節電期間中に自動販売機稼働台数削減。 ②特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生。有価物処理の継続。製品歩止まり向上及び不良率の削減。 ③漏洩する可能性がある作業場所での実地訓練。 ④大気半年1回、騒音、振動年1回、水質月1回測定を実施。
目標を達成するための取組の進捗状況	①構内の外灯を水銀灯から高効率蛍光灯へ変更完了。昼休みの事務所消灯継続中。室外機への散水装置を1箇所増設して、散水(夏場のみ)実施済。自動販売機を6台停止した。 ②特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生継続中。有価物処理継続中。製品歩止まりは、概ね計画通りに推移しているが、不良率は悪化している。 ③漏洩する可能性がある作業場所での訓練実施。 ④大気半年1回、騒音、振動年1回、水質月1回測定を実施。異常発生時は、迅速に対応している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	エネルギー削減、緊急事態対応訓練は計画どおりに取り組んでいる。廃棄物関係は、特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生と有価物処理は継続中であり、製品の歩止まりも概ね計画通りに推移しているが、不良率が非常に悪化したので原因対策を進めている。また、大気、騒音、振動、水質の測定も確実に実施し、異常発生時のルールも運用して対策が実施できた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規要求事項一覧表を使用して、年1回定期見直しを実施している。法や条例改正は事務局が情報収集し、各部門に伝達して対応するようにしている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	毎年1回内部監査を実施し、また外部機関からも毎年1回内部監査を受けている。その結果をもとに評価・見直しを実施している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。